

日 / 月 / 年 / 16 和昭

一 遂二十一月一日ヲ迎フ

二 總長大臣ト午前七時三十分ヨリ會談ス

果然大臣ハ作戰準備ト外交ニ本建案

ナリ理由ニ曰ク今決意シ一切ノ外交ヲ断

絶スル案ハ御上布許シニテラザルベシ自分

ニハ之ヲ申上ケ御許ヲ戴テ自信ナシ

統帥部自信アルナラバオヤリナサイ自分

ハ才止メハセヨト又海軍企三相共同意

見外相ハ不明ナリト是レ抑々如何ナル意見ナ

クヤ  
三 右ハ大臣ノ意見即ナリ大臣ハ「外交カ然ラズ

戰 争 日 誌

第二十卷

日 月 年 和昭

ニハ戰争兩者ハ両立セズ外交ニ目途アルハヤ

ルベシ作戰準備ハ中止スベシ目途ナシハ

外交ヲ断念シ戰争スベシトテ強硬ニ

近衛ニ迫リ近衛内閣ヲ倒シタルモノナリ

カヲシテ近衛内閣ヲ棄取ケル東條陸相

カ總理トナルヤオ上テ去エシテ決心ヲ更

更シ近衛ト同様ノ態度ヲ取ルトハ抑々

如何東條陸相ニ節操アリヤ否ヤ總

理ハ陣頭指揮宰相ト云ヒテ他ノ大

臣ヲ説得シ所信ヲ断行スルノ誠志

ト節操ト努力ヲ志却セリ統帥部

獨り残せし軍奮闘し己ムナキニ至ル嘆  
 二此ヲミテ參謀本部独り形勢惡化シ悲觀  
 憂愁ノ中ニ午前九時ヨリ會議ニ臨ム  
 總長次長ハ飽迄外交斷念戰事一途  
 二邁進スルノ案ヲ強硬主張セントス  
 其ノ悲壯ナル決心以テ特筆スルニ足ルベシ  
 三昨夜大臣海相ト會談セル結果ニ依レバ  
 果然海軍ハ鐵ヲ是レアルミシヲ是レコソケル  
 ヲ是レ是レナケレハ戰事出來ヌト云ハニバカリ  
 ナリ  
 而モコソケルノ如キ國內總供給日僅ニ七六〇

ナルニ九〇〇屯是レト云フ鉄一七〇万屯ノケチ  
 海軍ニ一〇万屯陸軍ニ六〇万屯トセヨ之  
 二印ヲオセト云フ  
 其ノ心事ノ陋劣唾棄スベキヤ言語ニ絶ス  
 誠ニ海軍ハ海軍アルヲ知リテ國家アルヲ  
 知ラザルノ一言至言ナルカナ  
 國內生産ニテ到底充足シ得ザルコト明瞭  
 ナル量ヲ要求スルトハ抑々如何戰事ハ  
 出來ヌノ責任ヲ政府ノ物ヲ是レナイカトト  
 云フニ他ナラズニテ何ゾ  
 陸軍憤激ノ極ニ海軍ハ武士ナルカ

軍人ナルヤ此ノ重大ナル國家ノ運命ヲ決  
スル秋ニ於テ之ニ食ノ如キ物ト云フスルトハ  
何ゾヤドヤクヤニ物ヲ取ルトハ何ゾヤ而シテ  
物ヲ取レバ必ず戰争ヤルト云フナラハ格別  
物ハ取ルモ決意ハセザルガ海軍ノ常套云  
戦法ナリ

班長海軍主任課長連ト恒例會食席  
上右ヲ糾断ス返ニ曰ク物取リニアラズ  
斯ク迄必要ナル實情ヲ諒トセラレ度  
以外ニ他意ナシト然ラバ他日ノ秋ニ於  
テナスベキモ連絡會議ヲ七回開キ最

後ノドンツマリノ前夜國政ノ重大決意ノ直  
前ニ於テ此ノ提議ヲナスハ如何ナルモ具意ゾ  
三、而モ海軍ハ外交作戦准備ニ本建案ナリ  
加之戦争(開戦)決意不明瞭ナルガ如シ  
四、連絡會議午前九時開始正子ニ至ルモ  
終ラズ激論ヲ重ネアルガ如シ次長長總  
長大イニ健聞セラレアルガ如シ其ノ努力カ  
其誠心其熱意ニ對シ感涙ナキ能ハズ